

建設工事つうしん

津山圏域資源循環施設組合

第 4 号

平成27年 6月1日 発行



施設建設工事（熱回収施設・リサイクル施設）は、本年12月稼働を目指し、現在、ボイラーの据付・溶接を始めとして、ろ過式集じん器などのプラント機器の据付等が行われています。

今後、クリーンセンター建設事業に対しまして、皆様のより一層のご理解、ご協力をいただきますようお願い致します。

★このつうしんは、組合ホームページでもご覧いただくことができます。

<http://www.shigen-tsuyama.jp/>

津山資源

で検索！



〈完成予想図（パース）〉

施設建設進捗状況写真（5月初旬撮影）

❀ 工事進捗率4月末現在の出来高は、**建築工事 59.1%、プラント工事 31.2%** です ❀



建設工事敷地の南側からの状況です。左側の熱回収施設は地下部分の工事も終わり、現在、地上からの鉄骨の高さは約20mです。右隣りのリサイクル施設の建設も始まりました。

熱回収施設の工事状況です。手前が、ごみピット部分で、中央部分がボイラーです。

完成予想図と同じ方向からの写真です。左手前の安全ネットで囲ってあるのが管理棟です。その奥の鉄骨の建屋がリサイクル施設。さらに奥が熱回収施設となります。



プラント機器シリーズ②『熱回収のプロ!「ボイラー」もやってきた!』



浜風薫る因島の地（工場）で生まれ、若葉輝くこの地にやってきた「ボイラー」。350トンクレーンに吊り上げられて、その場所へと腰をおろします。ごみ焼却による排ガスの熱を再利用し、発電の力の基となる蒸気を作り出す「ボイラー」は、「ごみ焼却」ではなく「熱回収」施設と呼ぶゆえんたる中枢機器として、その重責を担うこととなります。



納品



移動の準備



「安全・安心」に繋げるために、清めの酒と盛り塩で祈念します。

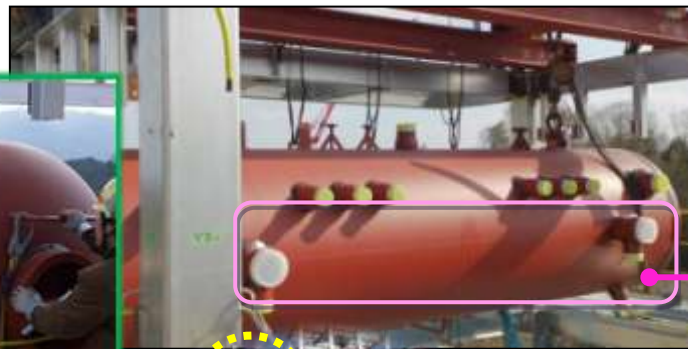


移動開始。

設置完了。後方の山の稜線がその高さを表しています。



地上約22m、現在の鉄骨（表のパノラマ写真参照）より高い位置に設置しています。



匠の技! 清めの盛り塩が、崩れないよう移動しています。



現場から

現場も佳境を迎え、200人を超える作業員が暑い中、安全に配慮しながら作業に従事しています。プラント機器の搬入・据付も品質確保に努め、順調に行っています。引き続き、気を引き締め頑張っていきます。



発行：津山圏域資源循環施設組合

（構成市町：津山市・鏡野町・勝央町・奈義町・美咲町）

〒709-4603

岡山県津山市中北下1300番地（津山市役所久米支所3階）

電話：(0868)32-7017(直通) FAX：(0868)32-7019

Eメール：shigen-t@shigen-tsuyama.jp

